

橿原市で音楽のあるカフェ「アンジェスカフェ」を経営

株式会社アンジェスミュージック 代表取締役 平岡美津子さん

奈良県橿原市にあるミュージックカフェ「アンジェス」はカフェ・音楽・イベントのスペースであり、ランチ、ライブ、セミナーなどにご利用いただけます。

平岡美津子さんは、長らく音楽講師として勤務した後、今から6年前にこのカフェをオープンされた奈良県でご活躍の女性起業家です。

- 名称：ミュージックカフェ アンジェス
- 業種：ミュージックカフェ経営、貸しスペース、コンサート企画、イベント企画
- 住所：奈良県橿原市新賀町485番地 Tel0744-35-4018
- 創業：店舗開業は2010年
- URL：<http://www.anges-music.com> <http://cafeanges.com/>



1. 事業やスペースの特徴を教えてください

当店は、お客さんがランチやカフェを楽しむ中で、演奏家の方が生演奏を披露していただける音楽カフェです。奈良県は、夜にコンサートの多い大阪都心部ほど、音楽を生で聴く機会はそれほど多くはありません。私は音楽の講師を長く続けてきましたが、演奏家の方々にもご協力頂いて「もっと気軽に音楽を楽しんでいただきたい」と思って、この場所をつくりました。

長年研鑽を積んで演奏を続けてきたけれど、音楽以外の業種に就いたままずっと演奏は続けているという方は多くいらっしゃいます。そこで、このカフェを音楽家を目指す学生、目的があって音楽を提供したい人、プロの音楽家など様々な方に活動の場としてご利用頂いています。ランチやティタイムには無料で演奏をお聴き頂けるシステムを作っていますので、お客様にとっても何度も足を運んで頂けて気軽に普段服で楽しんで頂いています。音楽だけでなく、趣味で続けてきたがそろそろ一般披露をしたいと考えておられる画家さん、写真家さんに展示して頂くスペースとしてもご利用頂いています。

音楽事務所としては、企業や個人の方々に楽しんで頂くイベントやパーティのご提案と奏者のご紹介を、そして地元の演奏家の方々をサポートするコンサート事業や、あるいは有名アーティストのコンサート事業を展開したりしています。

2. あなたの起業ストーリーを教えてください

私は長年音楽講師をしていました。これからの女性は手に職を持っていないてはならないという母の考えもあって、一所懸命練習をしてコンクールに入賞したりして、短大卒業後は自然と音楽講師になりました。楽しく仕事はしていましたが、自分が講師に向いているのかと考えることも多く、適齢期も迎え、自分が思うような人生を過ごしていないような気がして当時は悶々と過ごしていました。

そのうち、知り合いから結婚式や企業のパーティで演奏する人を紹介してほしいと頼まれることが多くなり、ある企業さんとの契約の中で「個人名では取引できない」と言われたことがきっかけで個人事務所を立ち上げました。

しかしそれでも自分が何をして良いかわからず、いわゆる自分探しの為にあちこちの自己啓発セミナーや起業セミナーに顔を出したりしていました。ある時、会計学のセミナーに参加したときに京都大学主催の「女性起業家セミナー」のチラシを見つけました。

申し込み締め切りの3日前でしたが何をしたいとも決まっていなかった中、これは絶対チャンスだと思って必死で考えて事業計画書を2時間で書き込み、参加資格を得ました。京大のセミナーは一流の企業家や教授がいらっしゃるって、普通の起業セミナーとは異なる感じがして大変勉強になりました。

政府の予算で運営されていたものでしたので、一人あたりこれだけの税金がかかったのですよとセミナー終了時に教えて頂いたのですが、その分「何かお返しなくては」という気持ちになりました。

3. 起業のときのご苦労をお教えてください

それまでも、ジャズピアニストの友人を応援するために、いろんな場所を借り、集客をして、コンサートを開催するという手伝いを何回かしていたことを思い出しました。演奏スペースは実は良い場所を探すのが難しく、グランドピアノも必要だし、部屋の真ん中に柱があっても困るのです。

そこで、平面で柱がなく見渡せるような場所を、知り合いの不動産屋さんのところに行って探していたところ、保育園として利用されている場所が空くから、そこを借りて自分でやったらどうかと勧められ、それがきっかけとなって、カフェ「アンジェス」をオープンしようと思いました。

最初に聞いた話では、築7年で簡単な厨房もあり、改装の必要もないとのことでした。そこで、自分の夢として見えてきていたコンサートホールを作りたいと考え、借りることにしたのです。今から考えるとびっくりしますが、当時は世間知らずで毎日コンサートを開催すれば家賃が払えると考えていたほど、何もわかっていませんでしたが、手付金をまず払いました。

しかし、実際に、保育園の中を見せてもらうと、建物の形的にコンサートホールに向いていないことがわかったのです。防音も必要ですから、何社かに見積もってもらうと、多額の改装費が必要になりました。それくらい世間知らずだったのですよ（笑）。

また、私はアイリッシュの音楽が好きで、それを取り上げたかったのですが、地域の方たちからは、ここではアイリッシュやクラシックをやっても人は来ないよと言われてしまいました。



音楽を聴くのを有料とするとなかなか来てもらえません。では、無料で音楽をとると、そのためにはご飯を食べてもらい、そこで収益を上げる必要があるとわかりました。でも、その料理がおいしくなければ誰も来てくれませんよね。

そこで、まずは飲食店として流行らせなければと考え、カフェとして営業し、音楽を聴いてもらうように変わっていったのです。そのために、料理に力を入れ、あちこちに勉強に行き、食べ歩きもして改善の努力を続けてきたところ、良いスタッフに恵まれ、昨年あたりから多くのお客さんが来てくださるようになってきたと実感しています。

※アンジェスランチ（限定1日25食）：2週間でメニューが替わり、季節のお野菜をたっぷり使った身体に優しいお食事です。

4. どのように乗り越えてこられましたか？

最初、厨房屋さんから「軽い食事を作るのか、それとも本格的な食事を作るのかによって厨房の中身が変わる」と言われたが、その意味もよくわかっていなかった状況でした。

店舗の改装費のためにいろいろ相談に行って苦労しましたが、最終的には地元の信用金庫さんから借りることができました。私は音楽講師として個人事業主であったため、制度的には創業には該当しないことになってしまいますが、奈良県の相談窓口の方が助言をしてくださり、信用金庫さんに相談してみたところ、信用保証協会を通じての融資が可能になりました。

5. これまでの成果や誇りについて教えてください

ある年配のお客様から、「音楽を聴きながらご飯を食べるということを初めて経験して、とても幸せな気持ちになったわ」と言われたことがあります。そういう時、私も幸せな気持ちになります。

このカフェから音楽活動を広げている方もおられます。その時、ちゃんとプロの方に写真を撮って頂くようお願いしています。そのほうが集客につながりますし、今後のお仕事にきつとつながっていくからです。その為に関東からわざわざプロのカメラマンをカフェにお呼びし「プロフィール写真撮影会」も開催しました。この場所がきっかけで、集まっている方の夢も花が開いたと思います。そういう方からは、「人生が変わった」と言ってもらえて、とても嬉しく思います。多くの出会いが生まれる場所になっていけば嬉しいですね。



6. 後輩女性起業家へのメッセージをお願いします



「やるかやらないかとなった時には、やった方がよい」

「やるかやらないかとなった時には、やった方がよい」ということを一番、お伝えしたいと思います。音楽教室の講師だった頃はやりがいもありましたが、制約も多かったので、こうして起業をしたことについて後悔はしていません。

なぜなら「起業は面白い」からです。起業していると、店は絶対につぶさないという気持ちになり、それを自分の力で何とかやっとうとを考え、工夫できることが面白い点ではないかと思います。

「もっと身近に音楽を」をコンセプトとして心と身体に優しいカフェを経営しております。今後は、これまで全力でひたすら研鑽を積んできた演奏家達を応援することに力を入れ、聴き手側の皆さんに音楽の素晴らしさを普段の生活に感じて頂けるような活動を行います。そして、従業員がうちで働くことを誇りに思ってもらえるような店にしていきたいと考えています。